



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 数見 康浩 (TEL) 03-5297-5151 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,657	6.7	△327	—	△279	—	△299	—
2022年3月期第2四半期	8,114	66.6	△514	—	△458	—	△485	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △169百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △439百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△54.25	—
2022年3月期第2四半期	△88.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	18,618	3,157	17.0	572.64
2022年3月期	18,196	3,404	18.7	617.46

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,157百万円 2022年3月期 3,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,676	6.0	695	36.3	681	9.0	641	4.0	116.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	5,516,335株	2022年3月期	5,516,335株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,678株	2022年3月期	2,678株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	5,513,657株	2022年3月期2Q	5,513,688株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2022年11月11日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス変異株による第7波の流行はあったものの、個人消費は持ち直し、経済活動の正常化の動きが見られました。一方で、急激な円安の進行や原油・原材料価格の高騰などを背景とした物価上昇など、国内景気の下振れリスクが存在しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お客様、従業員の安心・安全を第一に、引続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、店舗・教室、式場の運営に臨んでまいりました。

(和装事業)

和装事業におきましては、3年ぶりに緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの各種制限もなく、催事等も計画通りに開催することができ、受注は堅調に推移いたしました。費用面では、受注獲得に向けた催事関連費用、教室生徒獲得に向けた募集費用などを積極的に投下いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,658,144千円(前年同四半期比6.5%増)、セグメント利益は100,003千円(前年同四半期はセグメント損失79,990千円)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は、5,460,060千円(前年同四半期末比0.6%増)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、国内では3年ぶりの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの各種制限のない状況の中、来館客数も回復し、結婚式の受注、施行ともに好調に推移いたしました。一方、中国上海の子会社では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2022年3月28日から約2ヵ月間にわたり上海市政府によるロックダウンが行われた影響で、2022年4月から6月にかけては結婚式の受注、施行が行えない状況となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,998,874千円(前年同四半期比7.4%増)、セグメント損失は84,337千円(前年同四半期はセグメント損失95,334千円)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の受注残組数は、1,379組(前年同四半期末比3.1%増)となっております。

(全社)

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,657,018千円(前年同四半期比6.7%増)、営業損失327,458千円、経常損失279,028千円、親会社株主に帰属する四半期純損失299,101千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は18,618,457千円(前連結会計年度比2.3%増)となりました。

流動資産の残高は9,753,854千円(前連結会計年度比2.3%減)となりました。これは主に仕掛品が126,603千円増加した一方で、現金及び預金が285,438千円、売掛金が118,203千円減少したことによります。

固定資産の残高は8,864,603千円(前連結会計年度比8.0%増)となりました。これは主に建設仮勘定が656,094千円増加したことによります。

負債につきましては15,461,121千円(前連結会計年度比4.5%増)となりました。

流動負債の残高は12,893,233千円(前連結会計年度比1.3%増)となりました。これは主に短期借入金が550,000千円、その他が228,204千円減少した一方で、前受金が945,104千円増加したことによります。

固定負債の残高は2,567,888千円(前連結会計年度比24.6%増)となりました。これは主に長期借入金が450,411千円増加したことによります。

純資産につきましては3,157,336千円(前連結会計年度比7.3%減)となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失299,101千円を計上したこと、配当金77,191千円を支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました、2023年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,676,553	4,391,114
売掛金	997,300	879,097
商品	1,929,705	1,972,143
レンタル商品	1,321,078	1,359,484
仕掛品	530,760	657,364
原材料及び貯蔵品	93,382	141,279
その他	438,294	353,370
流動資産合計	9,987,075	9,753,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,738,966	4,725,397
土地	1,320,750	1,320,750
建設仮勘定	383,793	1,039,888
その他（純額）	220,990	234,706
有形固定資産合計	6,664,501	7,320,744
無形固定資産		
ソフトウェア	36,394	33,622
その他	52,966	88,830
無形固定資産合計	89,361	122,452
投資その他の資産		
投資有価証券	58,566	57,072
出資金	10	30
敷金及び保証金	1,278,143	1,248,173
繰延税金資産	92,887	94,150
その他	25,808	21,980
投資その他の資産合計	1,455,415	1,421,406
固定資産合計	8,209,277	8,864,603
資産合計	18,196,352	18,618,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	845,449	708,852
短期借入金	4,190,000	3,640,000
1年内返済予定の長期借入金	451,764	500,397
未払金	474,759	567,136
未払費用	316,469	325,102
未払法人税等	41,075	21,364
前受金	6,020,325	6,965,429
預り金	44,659	46,814
賞与引当金	1,650	1,425
その他	344,914	116,710
流動負債合計	12,731,068	12,893,233
固定負債		
長期借入金	768,929	1,219,340
資産除去債務	345,978	355,990
繰延税金負債	1,015	954
退職給付に係る負債	588,731	605,082
役員退職慰労引当金	15,607	—
その他	340,545	386,520
固定負債合計	2,060,807	2,567,888
負債合計	14,791,875	15,461,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,978,533	1,978,533
利益剰余金	1,370,505	994,212
自己株式	△17	△17
株主資本合計	3,399,020	3,022,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,506	32,012
為替換算調整勘定	△28,049	102,596
その他の包括利益累計額合計	5,456	134,608
純資産合計	3,404,476	3,157,336
負債純資産合計	18,196,352	18,618,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,114,512	8,657,018
売上原価	3,254,265	3,330,593
売上総利益	4,860,246	5,326,424
販売費及び一般管理費	5,374,936	5,653,882
営業損失(△)	△514,689	△327,458
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,513	3,314
受取手数料	2,758	2,617
助成金収入	41,340	2,500
為替差益	13,421	45,165
その他	5,255	7,987
営業外収益合計	69,289	61,584
営業外費用		
支払利息	10,845	11,455
その他	2,260	1,699
営業外費用合計	13,106	13,155
経常損失(△)	△458,506	△279,028
特別利益		
固定資産売却益	—	45
特別利益合計	—	45
特別損失		
固定資産除却損	2,047	78
特別損失合計	2,047	78
税金等調整前四半期純損失(△)	△460,553	△279,061
法人税、住民税及び事業税	20,743	21,364
法人税等調整額	4,194	△1,324
法人税等合計	24,937	20,040
四半期純損失(△)	△485,491	△299,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△485,491	△299,101

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△485,491	△299,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,569	△1,494
為替換算調整勘定	50,596	130,646
その他の包括利益合計	46,026	129,152
四半期包括利益	△439,465	△169,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△439,465	△169,949
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△460,553	△279,061
減価償却費	253,119	248,427
レンタル商品の償却	215,508	217,218
のれん償却額	6,194	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,289	16,350
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	433	△15,607
賞与引当金の増減額(△は減少)	△390	△225
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△30,311	—
受取利息及び受取配当金	△6,513	△3,314
支払利息	10,845	11,455
為替差損益(△は益)	△13,421	△45,165
商品評価損	104,760	104,682
商品減耗損	2,126	1,185
固定資産除却損	2,047	78
売上債権の増減額(△は増加)	166,839	118,203
棚卸資産の増減額(△は増加)	△501,497	△578,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,881	△141,899
未払消費税等の増減額(△は減少)	51,510	△205,896
前受金の増減額(△は減少)	1,063,413	912,951
その他	△19,491	50,014
小計	802,028	411,396
利息及び配当金の受取額	6,513	3,314
利息の支払額	△10,534	△11,746
法人税等の支払額	—	△40,061
法人税等の還付額	52,816	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	850,824	362,902
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△214,936	△144,622
定期預金の払戻による収入	114,708	44,400
固定資産の取得による支出	△109,919	△638,218
貸付金の回収による収入	1,993	1,993
その他	△27,772	39,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,926	△697,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△840,000	△550,000
長期借入れによる収入	200,000	744,000
長期借入金の返済による支出	△220,602	△244,956
リース債務の返済による支出	△7,697	△10,221
配当金の支払額	△38,595	△77,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△906,894	△138,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,425	87,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△282,571	△385,660
現金及び現金同等物の期首残高	1,533,346	1,640,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,250,774	1,254,630

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,252,514	1,861,997	8,114,512	—	8,114,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,252,514	1,861,997	8,114,512	—	8,114,512
セグメント損失(△)	△79,990	△95,334	△175,324	△339,364	△514,689

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△339,364千円は本社管理費であります。

2. セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,658,144	1,998,874	8,657,018	—	8,657,018
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,658,144	1,998,874	8,657,018	—	8,657,018
セグメント利益又は損失(△)	100,003	△84,337	15,665	△343,123	△327,458

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△343,123千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。